

宇佐市民図書館だより



みんと

第90号

2006年8月1日発行

宇佐市民図書館 本館

〒879-0453 大分県宇佐市大字上田1017-1
TEL. 0978-33-4600/FAX. 0978-33-4679
<http://www.usa-public-library.jp/>

安心院分館

TEL. 0978-44-1111(支所)/FAX. 0978-44-2181

院内分館

TEL. 0978-42-5111(支所)/FAX. 0978-42-5115

● 第6期・図書館ボランティアを募集します！

● 西部中学校図書館職場体験学習

● 記念講演「麻生豊の残したもの」写真家・石松健男さん

● ギヤラリー「麻生豊の世界」展・感想集

● (ご意見箱から)



ふるさと宇佐を撮る⑯ 「つり橋の夜明け」／宮地弘彦さん(写団宇佐)の作品

(7)(6)(4)(3)(2)
(5)

よむぞう

没後四十五年を記念した「麻生豊の世界」展。年譜を眺めていて、やはり宇佐にゆかりの作家・横光利一と同年生まれであります。どちらも関東大震災直後に本格デビューを果たし、麻生豊は疲弊した人々を勇気づけるために描いた「ノンキナトウサン」で、横光利一はまもなく到着する昭和の新しい文学を予兆するような「蠅」と「日輪」で、それぞれ人気作家の仲間入りをしました。二十代半ばのことです。昭和に入る、旺盛な創作活動で時代をリードし、麻生豊は「只野凡児」で、横光利一は「機械」や「寝園」で新境地を開拓しています。しかし、時代はやがて戦争に突入。作家たちも自由な創作活動ができず、「お国のための団結」を強いられます。そのころは二人とも、もうベテラン作家とみなされ、各団体の要職に就きます。麻生豊が日本漫画奉公会理事長になったり、横光利一が日本文学報国会小説部会の幹事長になったりしたのが四十代半ばでした。創作活動の後半を大作に捧げている点も共通しています。二人とも数々の連載を一方でこなしながら、麻生豊は戦後「銀座復興絵巻」の連作に着手。横光利一は、戦前・戦中・戦後という時代の波にもまれながらも「旅愁」を書き続けていました。いずれも十年以上書き継がれ、作者の死によつて余儀なく中絶したライフワークです。「銀座復興絵巻」と「旅愁」は、終わりのない旅を、渾身の力で生き抜いた一人の後半生そのもののようになります。『麻生豊の世界』展は、八月二十七日まで。「第8回・横光利一俳句大会」の応募作品締め切りは九月八日まで。

麻生豊と横光利一

おかえりなさい ふるさとの宇佐市民図書館

1. 図書館に来られない障がいを持った方のお宅へ希望する本などを届けていたりボランティアです。

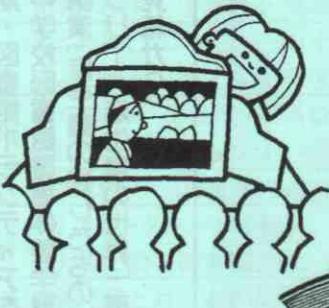
2. 障がいの方から希望の本、雑誌、CD、ビデオなどを聞く。

3. 希望の資料が貸出中であれば、予約をする。

宇佐市民図書館では現在24名の図書館ボランティアが活躍しています。今回は「図書整理ボランティア」と「読み聞かせボランティア」及び試みとして「本の宅配ボランティア」を募集します。

本の宅配ボランティア

図書館に来られない障がいを持った方のお宅へ希望する本などを届けていたりボランティアです。



読み聞かせボランティア

図書館ボランティアに興味がある方は、カウンターの職員に声をかけて下さい。皆様のご応募をお待ちしています。

④活動開始

図書館から

本はこれからも入る予定です。ゆいちゃんは、車で連れて来てくれます。皆様のご応募をお待ちしている人がいるのですね。とても素晴らしい事だと思います。

「()」の本はたくさんあって、いい本ばかりなのでまよつてしまします。

おでがみありがとう
うさしみん図書館へ

だから、もつともつと本をだしてください。
いんない町 ゆい

第6期 図書館ボランティア 募集します!!

(本の宅配・図書整理・読み聞かせ)

締切 9月30日

- 障がいをもたれた方のお宅へ届ける。
- という作業をします(返却も)。
- 所蔵していない本のリクエストも受け付けします。
- 障がいをもたれた方のお宅へ届ける。

・絵本の読み聞かせ、紙芝居など「おはなし会」をするボランティアです。

同期のメンバーを中心にサークルを作つて活動します。おはなし会の予定は、広報うさや図書館だより「みんと」などでもお知らせします。

活動開始まで

①カウンターに申込用紙があります。

必要事項を書いてお出し下さい。

②締め切り日以降、最初の研修日をお知らせいたします。

月に一回、半年ほど研修をしてい

ただきます。研修は、同期グループの方が都合のよい平日の昼間に行います。このため、学生の方は参加いただけません。

③研修に参加し、修了した方に図書館ボランティアの「認定証」を交付します。

ボランティア保険に加入します。(個人負担金200円が年度ごとに必要になります)

特集展示は「工作・自由研究」。色々な本がありますが、8冊ある「貯金箱」の本、多くは貸出中です。予約をオススメします。

夏休み。長いお休みです。どこかにお出かけしますか? 絵本展示架は「旅はいかが?」です。出かけれる人も出かけない人もご覧ください。忘れてはいけないのが、夏休みの宿題。手助けになる本がたくさんありますよ。



ここでこの仕事で社会の厳しさ、楽しさを学びました。特に図書館でのマナーや仕事に対する責任の重大さを知りました。
緒方凜太郎

7月12日、13日、西部中学3年の緒方凜太郎くん、瀧誠彦くん、田中孝治くんが図書館の職場体験にチャレンジしました。3人が図書館の職場体験を希望した理由は、「本を読むのが大好きだから」とのこと。

実習についての説明を受けた後、早速返却された本を本棚に戻す仕事から。棚に戻す本の正しい位置を探すのに少し苦労していました。館内を見学している時の事。少し乱れた本棚を見つけた生徒さんの手が自然に本を揃えていた事がとても印象的でした。

2日間の職場体験を終えた3人の表情は、一生懸命に頑張った充実感で満ちていました。



ここで学んだ「あいさつの重要性や日ごろ学ぶことの出来ない貴重な体験」を自分の進路に生かしたい。
田中孝治



自由研究・レポートなど、夏はたくさん宿題・課題があります。宇佐市民図書館は、課題に必要な資料を調べたり、取り寄せたりできます。

3名以上で資料を調べたい場合は、グループ室も利用できるようになります。

詳しくは、相談カウンターでおたずねください。

夏休み期間中（7月20日～8月30日）は「学習席」を2階閲覧ラウンジに設けています。資料を必要とする学習は、こちらへどうぞ。

- ・飲食（アメ・ガム含む）はできません。飲食はご面倒でもエントランスホールへどうぞ。
- ・携帯電話は電源を切るかマナーモードで。
- ・通話はエントランスホールへどうぞ。
- ・大声で話したり、走ったりして騒ぐことは、迷惑になります。
- ・本を読んだり調べたりする方に、マナーを守りましょう。

夏休みは学習席へ

郷土スペース通信 88

『夢は黒潮に乗って』（近藤正勝）

著者は平成三年から一期四年にわたり真玉町長をつとめた。

一九二六年真玉生まれ。旧制宇佐中から神戸高等商船学校（現神戸大学海事科学部）に進んだ。「お前は生まれも育ちも海の男だ」と父親から言われて自らも志望した。

卒業と同時に海軍少尉。戦後は捕鯨船に乗ったが、連日の船内生活の無理が重なって喀血。のち宇佐出身の大迫正富と別府で善隣出版（住宅地図ゼンリンの前身）を創業。日本一の住宅地図出版社「ゼンリン」と導いた。

昭和三一年、ゼンリンは軌道に乗り、折しも第二次造船ブームの到来で造船への夢も捨てきれず、播磨造船の技師に転職。以来三十年、故郷大分を離れ国内外を転々とする。やがて再び真玉に戻り、町長をつとめあげるまでの流転の旅を綴った自伝。

内容は、「一、幼少のころ」「二、夢は黒潮に乗って」「三、放浪の青春編」「四、ゼンリンの搖籃期」「五、造船三十年」「六、播磨から大分へ」「七、遠い日、近い日」。二〇〇六年一月発行。

漫画とマンガ

き方から創作態度まで、宇佐から出た大先輩に大変影響を受けました。

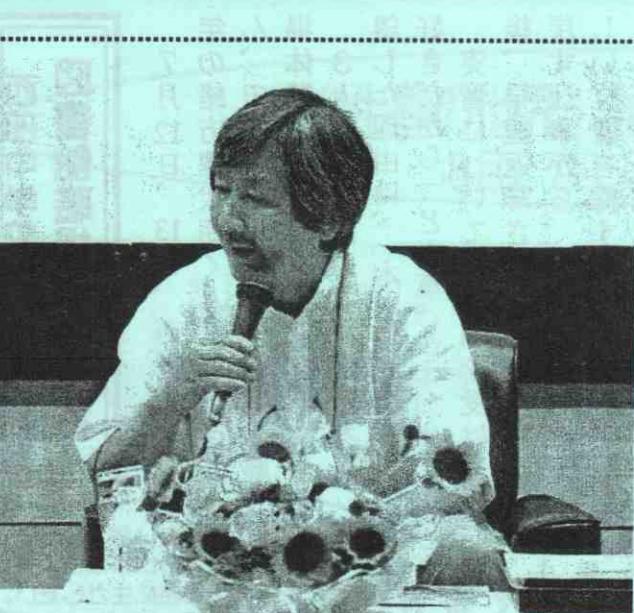
社会に鋭く、 人間に温かい



麻生斐(昭和28年)

没後45年記念講演
**麻生豊の
残したもの**
写真家・石松健男さん

図書館2階の渡綱記念ギャラリーで
「麻生豊の世界」展が始まった7月15日、
麻生豊と親交のあった写真家・石松健男さんの
記念講演が開催されました。その一部を紹介します。



「麻生先生から多大な影響を受けました」と語る石松健男さん
=宇佐市民図書館・視聴覚ホールで 7月15日

昭和二十九年に大学入学と同時に上京することになりまして、紹介状をもつて麻生豊先生の事務所を訪ねました。銀座のど真ん中にあり、三越や和光（今のSEIKO）が近くで、まさに「銀座復興絵巻」の舞台そのものでした。四階建てで、エレベータのない古い建物でしたが、四階の上に更に載せた建物が先生の事務所でした。どこかパ

リの建物のような風情がありました。女性の方に紹介状を渡すと、奥から先生が出てこられました。宇佐出身の人にはこんな紳士がいるのかというのが第一印象で、スラリと背の高い英國紳士のようでした。

私は緊張でドキドキして、まともに話もできませんでした。

銀座復興繪卷

先生は「銀座復興絵巻」をお描きになつていただきました。先生の戦後の代表作であり、また、ライフワークともいふべき大作です。昭和二十一年から三十二年まで書き続けられた連作で、全部で二十二巻にもなるそうです。大きな画面に大きな定規を縦にしたり横にしたりして、初めは線だけ引いて、

そのうち、漫画の原稿が出来ますと、「石松君、これ、新聞社へもつていいてくれ」とか、いろいろ使いに出されるわけです。するとそこで、人と人とのつながりが生まれるわけですね。そういうことまで配慮されて、先生は私に持つて行かせたのだろうと思います。私にいい出会いの機会を与えてくださったという思いがしています。

また、先生は釣りがお好きで、魚拓をたくさん残していますが、釣れた魚を一緒に押さえて墨を塗つて、紙をこする作業のお手伝いもたびたびしました。

いわば、昔の書生のように私は麻生先生に師事して、いたようなもので、生

◆七月十六日 西日本「超短波」欄
※「ノンキナトウサン」が商店街イメージキャラクターに決定したことをコラムで紹介
◆七月二十八日 合同「東西南北」欄
※現代に通じる麻生豊の社会風刺を米国産牛肉輸入再開にからめて言及。

写真家・石松健男さんによる記念講演
「麻生豊の残したもの」および「麻生豊の世界」展は、宇佐市商工振興協議会と宇佐市民図書館との共催で、麻生豊資料館の協力のもと、開催されました。講演会に先だって、協議会より「ノンキナトウサン」のイラストが商店街のイメージキャラクターに決定した旨の報告と、麻生家の感謝状贈呈が

「書生」の由来



石松さんと語る麻生浩一さん(左)

講演の後半では、麻生豊の甥にあたる麻生浩一さんが飛び入り参加。「まもなく没後五十年になろうとしているのに、伯父の名前と作品を大事にしてくださる方々が宇佐にいらっしゃる」とは、大変ありがたい。暗いときも悲しいときも、やさしさと思いやりをもつて、みんなで力を合わせ生きていく」という伯父が作品にこめた心を、若い人たちに受け継いでもらいたい」と会場にメッセージージを送りました。

「麻生豊の世界」展 ギャラリーの感想集
8月27日(日)まで開催中!

「ノンキナトウサン」は、両親から聞いた話として記憶に残っていますが、作者の方が宇佐市出身とは知りませんでした。こういう心温まる世界観が今の子供たちに一番必要なのかも……と思います。

(宇佐市・四十代の女性)

図書館にはよく来ますが、2階のギャラリーははじめて来ました。気になっていたので胸がスープになりました。今回の麻生豊さんは、サザエさん同様とても近くに感じます。うまく言えませんが、地元出身の方をどんどん身近に感じたいです。

(宇佐市・四十代の女性)

麻生豊さんの作品とてもせんさいで筆のタッチがとてもすてきです。家にも麻生さんの本などが何冊かありますけど、持つてない本があつたのでほしいなあと思いました。

(宇佐市・女子中学生)

麻生豊さんの書くマンガはどれもおもしろいですね。その他にも「よくこんなアイディアがうかぶなあ」とか、「絵がとつても上手だなあ」などの感想が心の中に出てきました。私は麻生豊はとつてもいい人だなあと思っています。

(宇佐市・女子小学生)

図書館から 今回の「麻生豊の世界」展は、麻生豊資料館（市内四日市）の全面協力のもとで開催します。図書館で行うはじめての麻生豊展です。代表作の原画や、愛用のペンや筆など、どれも作者の身近にあつたものを、麻生家が大切に保存してきたものばかりです。どうぞこの機会にごゆっくりご覧ください。

図書館から

今回の「麻生豊の世界」展は、麻生豊（日市）の全面協力のもとで開催していく

旅中失踪した青年の謎『ツアーハンマー』中島京子(集英社)913.6ナカ【7/9大】
 一首を通じた境遇と伝承『歌説話の世界』馬場あき子(講談社)911.1ハ【7/9大】
 生活を豊にする品々『暮らしの和道具』遠藤ケイ(ちくま新書)589エ【7/9大】
 の目で平成版「坊っちゃん」『うなり』小林信彦(文藝春秋)913.6コバ【7/16日】
 ネーと思う話にも根拠『殿様の通信簿』磯田道史(朝日新聞社)210.5イ【7/16朝】
 頑民族』の通史『コメを選んだ日本の歴史』原田信男(文春新書)616.2ハ【7/16西】
 がん恐れず出産した外科医『余命』谷村志穂(新潮社)913.6タニ【7/23産】
 支配者に『飛び道具の人類史』アルフレッド・W・クロスビー(紀伊國屋書店)502ク【7/23産】
 罪と病気の危うい境界を描く『無痛』久坂部羊(幻冬舎)913.6クサ【7/23産】
 忘れられた理由を追う『近衛秀麿』大野芳(講談社)762.1オ【7/23毎】

新着資料の書評（七月）

『オシムの言葉』

木村元彦著

一家を建てるのは難しいが崩すのは一瞬。サッカーもそうでしょう。攻撃的ないいサッカーをしようとする。それはいい家を建てようとする意味。ただ、それを壊すのは簡単です。戦術的なファウルをしたり、引いて守つたりして、相手のいいプレーをブチ壊せばいい。作り上げる、つまり攻めることは難しい。でもね作り上げることのほうがいい人生でしよう。そう思いませんか。」(第8章「リスト

オシムの言葉
サツカーダけに限定されない。オシムの秀抜な語録が、激動の半生から本人に伝えるメッセージが満載。



◆その他の新書◆

『ザレゴトディイクショナル』『しづくちやん6』『汝、明日へ羽ばたく者たちよ』『びつくり館の殺人』『風牙天明』『マリア様がみてる仮面のアクトレス』『エンデュミオン・スプリング』『少年は戦場へ旅立つた』『ねずみ小僧六世』『走れ！ やすほにっぽん縦断地雷教室』『ファッションドザイナーになろう！』『ヘアメイクアップアーチストになろう！』『魔夜妖一先生の学校百物語』『読んで演じたくなるゲキの本 高校生版・中学生班』

7月のミニ展示

東側（一番奥のOの書架）から順番に紹介しています

(通路側)	(窓側)
・本をつくる	・名言・格言
・不思議な話	・風水
・神々と国	・子どもと歴史
・ながーいお休みには	・ロシア
・外交問題を考える	・アメリカを知る
・農のはなし	・差別を考える
・空のお仕事	・学校選び
・病気と戦う	・イルカ
・映画を楽しむために	・翻訳入門
・夏の記憶	・朝日新聞社文庫
・アイ・ツック・アシモフ	・兵士の手記
・WOMAN	・リリー・アントル
・SFを楽しむ	・早乙女 貢
・樋口有介	・福井晴敏
・本音	・山口 瞳

図書館日誌 6月20日～7月10日

- 6/24(土)続・横光利一を読む会
 7/5(水)子どもと本を学ぶ会
 7/8(土)古典に親しむ会(7/15)
 7/8(土)おはなし会
 7/8(土)人形教室
 7/11(火)近世文書を読む会
 7/12(水)西部中職場体験学習(7/13)
 7/16(日)絵便り教室

~図書館ボランティアの活動~

- 6/20(火)図書整理ボランティア4期(7/4)
 7/6(火)図書整理ボランティア1期
 7/13(木)「おはなししあのね」おはなし会

ありがとうございました。

日田市教育委員会、小島崇誌、(財)社会経済生産性本部、武藏大学人文学部宮本研究室、落合清子、(株)読売新聞西日本本社、邪馬台発行所、宇佐のぞみ芸術高等学校、大分県教育庁埋蔵文化財センター、行橋市役所総合政策課、(財)大宰府顕彰会

寄贈していただいた方

(6月末現在 敬称略)

休みを告知しないとは
 カウンターで配布している年間予定表と休館日が違う。非常に腹が立った。3週間も休館なのかと思い、今日やっと開館だと思って行ってみれば、また休みだ。本当に腹立たしい。いい加減にしろ!!

どこも図書館サービスの向上に努めている中で、長期休館だけでもサービスが悪いと思っているのに、ましてやきちんと告知しないのは言語道断。(宇佐市・小学生以下・男性)

6月号にも期間変更を掲載しましたが、利用者の方には大変ご迷惑をおかけしました。

灰皿を撤去せよ!

玄関での喫煙は不快。健康増進法の立法理念に非煙喫煙者が受動喫煙せ

館内は全て禁煙にし、以前はエンタランスにあった灰皿を玄関外の軒下に移動しました。椅子もなく、雨が降れば滴がかかるほどの場所です。屋外ですので煙がこもることはあまりないと思いますが、いかがでしょうか?

【ヤング】
 「あなたのなりたい職業はなんですか?」
【チャレンジ職場体験】
 「こども」「水・百の話」「戦争の本」

煙習慣の有無に関係なく、受動喫煙しても構わないという悪意が認められる。(宇佐市・40代・男性)

芥川賞 伊藤たかみさん
 直木賞 三浦しをんさん
 森 絵 都さん

「緊急特集『北朝鮮と日本』」
 第135回「芥川賞・直木賞」

ざるを得ない環境は反している。公共交通機関での喫煙は喫煙者がガマンすべきで、非喫煙者に苦痛をなぜ強いる。灰皿の撤去を強く望む。玄関で喫煙していれば、玄関にこもった煙を通行する人は否が応でも吸わなければならず、結果的に受動喫煙を強いられる。これは玄関を通る人が喫煙習慣の有無に関係なく、受動喫煙しても構わないという悪意が認められる。(宇佐市・40代・男性)

【一般】
 「赤塚不二夫さん・デビュー50年」
 「アウトドア特集」
 「まだ! 外へ出よう」
 「もうすぐ七夕」
 「願いが叶いますように」
 「第135回『芥川賞・直木賞』」

七月の特集展示



ご意見箱

図書館がお客様にとって不可欠の施設になっているのが感じられます。待ち望んだ開館日が休館で、がっかりされた事でしょう。申し訳ありません。

5月19日に休館期間の変更が決定しました。即日ホームページと玄関のカレンダーを変更。年間予定表を変え、貸出カウンターに告知の張り紙をしました。5月20日号の「広報うさ」は変更できなかったため、6月5日号に新しいカレンダーを挿み込み全戸配布し、図書館便り「みんと」

【赤塚不二夫さん・デビュー50年】
 【アウトドア特集】
 【まだ! 外へ出よう】
 【もうすぐ七夕】
 【願いが叶いますように】
 【第135回『芥川賞・直木賞』】



8月の宇佐市民図書館 本館

1	火	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ④小峰団地 古文書を読む会 近世文書 14:00~15:30 (研修室)
2	水	アニメ「楽しいムーミン一家」魔法の言葉 13:00~13:49 ほんの森号 ②宇佐小 ④渚団地
3	木	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ④貴船団地 おはなし会 (「むくむく」主催) 11:00~11:30
4	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
5	土	アニメ「スプーンおばさん」2 13:00~14:00
6	日	映画「太平洋の嵐」(日) 13:00~14:58
7	月	休館日
8	火	ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ④宇佐公民館
9	水	アニメ「楽しいムーミン一家」オーケストラ号の冒険 13:00~13:49 ほんの森号 ②北馬城小 ④長洲公民館
10	木	ほんの森号 ①豊川小 ②糸口小 ④四日市コミュニティ おはなし会 (「あのね」主催) 11:00~11:30
11	金	ほんの森号 ①安心院小 ②院内中部小 ③院内分館 ④安心院分館
12	土	アニメ「ピーターパンの冒険」6 13:00~15:00 おはなし会 (図書館主催) 11:00~11:30
13	日	映画「風と共に去りぬ」(ア) 13:00~16:52
14	月	休館日
15	火	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ④小峰団地
16	水	アニメ「ちびまる子ちゃん」たまちゃんのお父さん、大決心 13:00~14:10 ほんの森号 ②宇佐小 ④渚団地
17	木	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ④貴船団地 おはなし会 (「あのね」主催) 11:00~11:30
18	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
19	土	アニメ「楽しいムーミン一家」ムーミン谷の吸血鬼 13:00~13:49
20	日	映画「太平洋の翼」(日) 13:00~14:41 おはなし会 (「あのね」主催) 11:00~11:30
21	月	休館日
22	火	古文書を読む会 中世文書 14:00~15:30 (研修室) ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ④宇佐公民館
23	水	アニメ「楽しいムーミン一家」ママとの運命の出会い 13:00~13:49 ほんの森号 ②北馬城小 ④長洲公民館
24	木	ほんの森号 ①豊川小 ②糸口小 ④四日市コミュニティ
25	金	ほんの森号 ①安心院小 ②院内中部小 ③院内分館 ④安心院分館
26	土	アニメ「釣りキチ三平」沼と湖編下巻 13:00~13:48 続・横光利一を読む会 14:00~16:00 (研修室)
27	日	映画「ダイナソーウォーズ」(ア) 13:00~14:30
28	月	休館日
29	火	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ④小峰団地
30	水	アニメ「楽しいムーミン一家」お魚パーティーで仲直り 13:00~13:49 ほんの森号 ②宇佐小 ④渚団地 おはなし会(たまたばこ主催) 11:00
31	木	休館日 【月末整理日】

ほんの森号の時間帯 ①10:20~11:00 ②13:00~13:40 ③14:00~14:40 ④15:20~16:00

おはなし会

- 8月 3日(木) 図書館ボランティア「むくむく」主催
 8月 10日(木) 図書館ボランティア「おはなしのあのね」主催
 8月 12日(土) 図書館主催
 8月 17日(木) 図書館ボランティア「おはなしのあのね」主催
 8月 30日(水) 図書館ボランティア「たまたばこ」主催
 いずれも 11:00~11:30 おはなしのへや

渡綱記念ギャラリー

「麻生豊の世界」展

開催中 ~ 8/27(日)まで

講座案内

(参加は自由です。無料。2階・研修室)

古文書を読む会

★近世文書 「田口家文書(時枝領史料)」その2
8月 1日(火)★中世文書 「萩原文書」
8月 22日(火)

*いずれも14:00~15:30

続・横光利一を読む会

「旅愁」を読む 83

8月 26日(土) 14:00~16:00

上映会

1階・視聴覚ホールでビデオやDVDなどを
使って上映しています(無料)

◆子ども向け(アニメ)

8/ 8(水) 「楽しいムーミン一家」49分

8/ 5(土) 「スプーンおばさん」2 60分

8/ 9(水) 「楽しいムーミン一家」49分

8/12(土) 「ピーターパンの冒険」6 120分

8/16(水) 「ちびまる子ちゃん」70分

8/19(土) 「楽しいムーミン一家」49分

8/23(水) 「楽しいムーミン一家」49分

8/26(土) 「釣りキチ三平」沼と湖編下巻 48分

8/30(水) 「楽しいムーミン一家」49分

※「ムーミン」の副題は、右の日程表をご覧ください。

◆一般向け(映画)

8/6(日) 「太平洋の嵐」(日本) 118分

1960年 脚本:橋本忍、国弘威雄

監督:松林宗恵 出演:三船敏郎、
佐藤 充、夏木陽介、上原美佐

8/13(日) 「風と共に去りぬ」(アメリカ) 232分

日本語吹替 1939年 監督ピーター・フレミング
出演:ピッピ・アン・リー、クラーク・ゲーブル

8/20(日) 「太平洋の翼」(日本) 101分 1963年

監督:松林宗恵 出演:三船敏郎、
加山雄三、夏木陽介、星由里子

8/27(日) 「ダイナソーウォーズ」(アメリカ) 1996年

90分 日本語字幕
監督:ブレット・ハーバー 出演:シェフ・コルニエロ、
リック・ブレア